

平成28年度 東北中学校体育大会 第45回 若鷲旗争奪東北中学校野球大会

【代表決定戦】

いわき市立中央台南中（福島県）

VS

八戸市立下長中（青森県）

接戦をものにした下長中

全国への切符をつかむ

～終盤に意地の反撃 全力プレーで

会場を沸かせた中央台南中～



平成28年8月7日 代表決定戦 天候：晴れ 場所：名取市民球場 時間：16時20分～17時50分

チーム \ イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
下長中	0	0	0	1	1	0	0			2
中央台南中	0	0	0	0	0	1	0			1

審判

球審：星野

一塁：多勢

二塁：石黒

三塁：児玉

バッテリー

先：下長中 金一佐々木

三塁打 佐々木（下長）

後：中央台南中 吉田一國井

二塁打 三浦（下長）

試合経過

手に汗握る攻防となった第3代表決定戦。先制したのは下長中。4回表2死から3番佐々木が中越え三塁打を放ち2死3塁とすると、相手投手の暴投により1点を挙げる。続く5回表にも1死2塁から8番塚根の中前適時打で2点目を挙げ、下長中が試合の主導権を握る。対する中央台南中は6回裏、2死満塁で打席に4番の國井を迎える。カウント2-2から捉えた打球は中前適時打となり、中央台南中に待望の1点が入る。しかし反撃もここまで。最後まで勝利を信じて戦い抜いた両校に、スタンドからは温かい拍手が送られた。



監督談話

森外監督（下長中）

準決勝を含め、相手投手の球をしっかりと打ち返すことができていた。地区を勝ち上がってからは打撃力とスピードを強化してきた。打つべき人がよく打った。3年間でよく成長した子どもたちに感謝したい。全国大会に初めて出場できることが嬉しい。まずは一つ勝つことに集中していきたい。

渡邊監督（中央台南中）

6回裏がすべてだった。3塁ランナーコーチは二人目の走者も本塁へ回していたが、走者が還らなかったことは指導不足。打線は2巡目から相手の金投手を捉え出したが、あと一押しが足りなかった。もともと強いチームではなく、公式戦の初戦は一回戦で負けた。選手にはここまで強くなったことを誇りに思ってもらいたい。山を登ってもその先にまだ険しさがあつた。



東北中学校野球大会実行委員会記録広報部